

令和3年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立仲六郷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成 果

- ・ 音楽が好きで、どんな学習にも楽しんで取り組める児童が多い。
- ・ 音楽の学習で大切な「聴く」「合わせる」「待つ」ことができるようになってきた。



(2) 課 題

- ・ 表現の工夫を考えたり、それを表現したりすることに自信をもてない児童が多い。
- ・ 想像力をはたらかせて聴いたり、考えたり気が付いたりしたことを自分の言葉で伝えることが苦手な児童が多い。



2 授業改善のポイント

・ 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ いろいろな楽器について奏法などを知り正しく演奏する技能を身に付けさせるために、楽器にふれる機会を多く設定する。	・ 楽しく音楽を聴いたり、表現したりできるようにするために、ワークシートに文や絵で書かせたり、発表の機会を多く設定したりする。	・ 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じることができるよう、学習形態やオリジナルの教材などを工夫する。

・ 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 音楽表現に必要な技能を身に付けさせるために、多様な音楽に触れさせ、共通事項を確実に知識として身に付けさせるようにする。	・ 良さを見つけて聴いたり、思いを表現したりできるように、既習事項を活用し、楽器の音色や、曲や演奏の良さに気付かせ新たな知識を得られるようにする。	・ 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じることができるよう、学習形態やオリジナルの教材などを工夫する。

・ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 楽曲に合う表現や、表したい音楽表現ができるように、音色や演奏の仕方などの基本的な知識を伝え、個に応じた課題を設定しスモールステップで技術を習得させる。	・ 味わって聴いたり、思いを表現したりできるように、言葉や実際の音楽で思いを伝え合ったり、楽譜から表現の工夫を考えたりする場を多く設定する。	・ 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じることができるよう、学習形態やオリジナルの教材などを工夫する。